

令和 7 年度学校評価(年間評価)

学校名 竹田支援学校

前年度評価結果の概要
本年度の大きな柱としてあげた「授業改善」、「安全・安心な学校づくりの取組」、「働き方改革」のいずれの取組においても、本校の仕組み化、組織化を徹底したことによって一定の成果を上げたと思われる。次年度は、本年度の取組について、その形を維持・継続しつつも、それぞれの取組について、児童生徒や職員が主体的に振り返ったことを教育活動に落とし込む、真の意味での「深化」が課題である。

学校教育目標
中期目標
重点目標
児童生徒一人一人の尊厳を重んじ、きめ細かな指導をととして個々の能力や適性を伸ばし、今を、将来を、主体的に生活し、社会の中で協力して心豊かに生きる児童生徒を育成する。

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various school activities.

総合評価
次年度への展望等
本年度の大きな柱としてあげた「授業改善」、「安全・安心な学校づくりの取組」、「働き方改革」のいずれの取組においても、職員一人ひとりの意識の高まりや個人と組織が協働したことで一定の成果を上げたと思われる。次年度は、高等部卒業後12年間を見通した進路指導やキャリア教育の充実を通し、地域と協働した児童生徒の育成が課題である。また、働き方改革については、今後の教職員の増減に耐えうる組織改革が喫緊の課題である。